

## 学校関係者評価報告書

学校法人 福田学園  
大阪工業技術専門学校  
自己点検・評価委員会  
学校関係者評価委員会

学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校(自己点検・評価委員会)が実施した令和6年度自己点検・評価表に基づき、下記日時に開催した『学校関係者評価委員会』に於いて以下の意見と評価がありました事を報告致します。  
今後は、当該評価委員から頂きました意見等を真摯に受け止め、より良い学校運営と教育に努めて参ります。

- 開催日時:令和7年8月28日(金) 14:00 ~ 16:00
- 場 所 :福田学園 1号館(大会議室)
- 学校関係者評価委員 出席者

【評価委員】	所 属	役職等
大槻幸一	堺市立庭代台中学校	校長(前職:高等学校校長)
石田智泰	栗本建設工業株式会社	常務取締役大阪本店長
河野正道	住友精密工業株式会社	総務人事部人事グループ アシスタントマネジャー
村野智子	卒業生(平成5年卒)	校友会長
【事務局】	所 属	役職等
伊東和幸	大阪工業技術専門学校	副校長
宗林 功	大阪工業技術専門学校	教務課長
吉田裕彦	大阪工業技術専門学校	企画開発局長 (建築設計学科長/ロボット・機械学科長)
大西崇之	大阪工業技術専門学校	ICT推進委員 (インテリアデザイン学科長)
吉松秀典	大阪工業技術専門学校	広報担当課長
善才雅夫	大阪工業技術専門学校	進路支援室長
辻本 功	大阪工業技術専門学校	事務課長

## ◆評価委員の意見と評価

A:十分に満足できる(3点) B:満足できる(2点) C:やや不十分である(1点) D:不十分である(0点)

項目	評価委員の主な意見等	総合評価 (平均値)
基準1:教育理念	中期計画を策定することで、安定した学生数の確保に向か、しっかりと構想が抱けている。	2.5
	競合他校と一線を画した体制を確立し、今後を見据えた学校作りをめざしていただきたい。	
	将来構想において社会情勢を考慮した中期計画を策定し、他校と異なる特色ある学校づくりを目指されている事は評価できると思います。	
	今後も18歳人口の増加が見込めないので、視野に入れておられる通信制を早く進めるべきだと思います。	
	まず、時代の求める技術者を養成するという理念のもと創立以来130年の継続に敬服いたします。	
	また、「中期計画(5ヶ年計画)」を策定され、その時代にマッチした具体的な年度の事業計画をたてられておられる点も十分に評価できます。	
	職業人・工業人の育成において、専門的な視点を有している。	
	倫理観を持った技術者の育成に心がけている。	
基準2:学校運営	理事会・評議員会がしっかりと機能しており、目的達成のための運営組織が整備されている。	3.0
	また、規程類により、役割と責任が明確に示されている。	
	教務会議(各委員会)→運営会議→学園理事会と組織的に運営され、効率よく機能されていると思います。	
	運営会議の設置及び企画開発局の発足等学校運営に関して中長期的な視点に立って運営されていると感じました。	
	上記の理念と併せて中期計画(5ヶ年計画)を元に事業年度毎に振り返り(結果の良否等)、必要であれば中期計画の微修正もありかと思います。	
	運営組織等は役割を果たしている。	

基準3:教育活動	『教育のICT化』が進められているが、その活用について習熟度が均一化されるよう各種取り組みを継続していただきたい。	2.8
	ニーズに対応した授業が行われていると感じます。	
	今の学生の環境に考慮し、問題を探り、様々な課題に取り組んでおられ評価できると思います。	
	多くの卒業生が存在することから、もっと様々な実務や現場見学、実施体験ができる取り組みが行える	
	と良いと思います。(教員共)	
	2部(夜間)の対応またオンライン利用による講義等、リカレント層含め幅広く受け入れ柔軟に活動されている	
	と思います。	
	年々変化する環境や生徒の気質等も考慮され教育方法を進化させていると思います。しいて言えば、	
	技術以外の面、例えばコミュニケーション力や深堀して考える力(方法含め)もつけてほしい。というのが	
	企業側として感じた要望です。	
基準4:教育成果	教育方針・3ポリシーにのっとり適正に行われている。	2.8
	就職内定率は目標を達成されており、継続いただきたい。	
	除中退率が前年度と比較して低減されている。引き続き各種取り組みを継続いただきたい。	
	就職の内定率は高く評価できると思います。	
	中小から自治体、大手企業ほぼすべてから多数の求人が来ている事は素晴らしいです。	
	引き続き資格取得の価値を説き、若いうちに取得することを進めてほしいです。	
	退学理由がミスマッチでなく、メンタル面であるようなことから通信制のニーズがあるのではないかでしょうか。	
	成果については、資料にありました通り就職率(内定率)だけではないことを理解しました。	
	資格取得に関する支援も行われており、評価します。	
	退学率も僅かであるとの事、学校の運営や教育に問題はないのかと思います。	
基準5:学生支援	資格取得、就職内定率など目標に到達している。	2.8
	退学者の減少は成果を感じる。	
	学生が有意義な学生生活を過ごせるよう経済的側面に対するサポート体制を整えていただきたい。	
	そのためにも『高等教育の修学支援新制度』が有効に機能することを期待している。	
	国の修学支援制度をはじめ独自のサポートプランもあり、支援制度が整備され、機能していると思います。	
	(建築系)求人票をほとんどの企業から頂いているとの事で御校のニーズは高く学生に対する指導・支援も	
	適切に行われていると思います。	
基準6:教育環境	また、学費についての支援もフレキシブルに対応されており、十分に評価できると思います。	2.8
	個々の生徒に対して、十分に行われている。	
	教育のICT化に向けた取り組みを段階的に進めていただきたい。	
	パソコン機器の整備をはじめ、電子黒板、wifiが完備され、時代に合ったICTを活用した授業が行えるよう	
	整備されていると思います。	
	専修学校の基準に則って適切な募集が行われていると思います。	
	HPやSNSも積極的に活用した広報活動も評価できます。	
基準7:学生募集	ICT利用した教育環境等時代に即した環境整備がなされていると思います。	2.8
	災害対策については、BCPの観点からも重要だと思われ、取組をされておられます。	
	教員の志望者が減少している状況において、専門性の伝承しなければならない。	
	18歳人口の減少と併せて、大学進学があらゆる要因により容易になっていることから、募集定員の確保は	
	非常に難しいと思われるが、幅広い広報活動を展開いただき質の高い学生を獲得いただきたい。	
基準8:財務	オープンキャンパスに参加した人が多く入学されていることから、学生運営のオープンキャンパスは	2.8
	上手くできていると思います。	
	オープンキャンパスやオンデマンドWEBオープンキャンパス等工夫されていると思います。	
	若年者人口の減少の中、II部を含めて魅力あるカリキュラムが示させてている。	
	借入金や長期の負債もないようなので、引き続き安定的な財務運営を行っていただきたい。	
	学費改定に関してはやむなだと考えます。	
	財務基盤は長期の借入金がないことから、中長期的に比較的安定していると思われます。	
基準9:法令遵守	今後も学生数の減少が見込まれることから、抜本的な方策を考慮する必要性を感じます。	2.8
	財務に関しては、専門ではないのでわかりませんが、中長期的な経営(財務)計画を作成され実施されて	
	おられるので、問題ないと思います。	
	適正に行われている。	
	引き続き、法令遵守に努めていただきたい。	
	国、大阪府の各法令に準じた健全な学校運営が行われていると思います。	2.8
	また、大阪府の私立専修学校・各種学校設置認可等に関する審査基準にも適合して認可を受けられて	
	いる事もからも適正な運営ができるといふと思われます。	
	特に言及すべき事項はありません。	

	適正に行われている。	
基準10:社会貢献	引き続き、行政機関、民間機関、周辺施設などと連携・交流を図っていただきたい。	2.5
	近隣の行政や地域との連携、また交流が行われている事は高く評価できると思います。	
	交流を通じて社会や企業が何を求めているのかを知り、学生自身の将来に役立てて欲しいです。	
	企業の協力体制もあるようで大変良い事だと思います。	
	貸し教室の提供、無償に近い金額で校舎を開放している事は社会貢献の一部といえると思います。	
	教育の一環として行政・企業との連携をされていることはとても良い取り組みだと思います。	
	将来、環境をテーマに省エネであったり脱炭素であったりと建築に関連して社会貢献できる教育も考慮	
	されてはと思います。	
	こども対象の行事等、学生が主体的に行う事業について検討頼う。	
基準11:国際交流	外国人留学生の受け入れについて、適切な手続き等が取られており、専属担当職員を配置するなど、	2.0
	しっかりと体制が整っている。	
	高校生の減少を踏まえ、留学生の受け入れは重要だと思います。	
	日本で専門知識を学びたい留学生は多く存在し、留学生にとって東京より大阪の方が経済的に	
	学びやすいのではないかと思います。日本学校との連携を進め学生獲得に繋げてほしいです。	
	外国人留学生は今後も増えてくると思われます、日本語学校との連携も強化され多数受け入れができるよう	
	になればと思います。	
	適正に行われている。	

※尚、上記の意見と評価は、委員会当日(8/28)に出席されました評価委員の皆様方から、後日、別途改めて頂戴しました評価表を集約し、纏めて記載しております。